

## 被害が大きくなりやすい地形



低平地には周辺から氾濫流が集中し、浸水深が大きくなる。  
3mを超える浸水深がある箇所に住居がある場合、屋内避難では対応できない(屋外避難をしないと人命に関わる)。



築堤河川の狭窄部付近では、氾濫流が集中し、浸水深が大きくなる。



築堤河川の合流部には、上流からの氾濫流が集中し、浸水深が大きくなる。

## 水害の事例

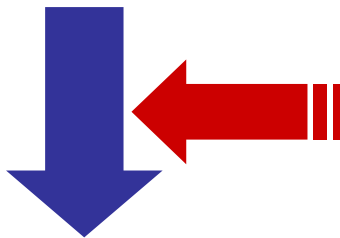


平成10年 高知豪雨災害  
河川合流部にはん濫水が集中し、高知県立美術館の1階が水没。

# 3. これからの治水政策

## これまでの対策

一定規模の洪水を河道内で安全に流下させる(氾濫する頻度を減らす)



### 近年顕在化している課題

河川整備の限界(気候変動, 超過洪水)  
危機管理の限界(情報氾濫, 経験不足)  
地域コミュニティの脆弱化  
(水防組織の衰弱, 少子高齢化)  
水害意識の低下(無関心, 行政依存)

## これからの対策

(水害に対する危機管理)

### 【治水対策の目的】

**人々の命を守る** **最優先**

床上浸水のような壊滅的な被害を防ぐ

これまでの治水対策に加え、自助・共助・公助を組み合わせ、ハード対策とソフト対策を連携し、対策を進める。

## 4. 最近の全国の水害事例

44

### 新潟・福島豪雨(H16.7.12～14)

#### 降雨量

- ・新潟県栃尾市で、1日降水量421mmを観測。新潟県加茂市で316mm、福島県只見市で325mmの1日降水量を観測。

#### 被害概況

- ・死者16名、負傷者4名、全壊70棟、半壊5,354棟、床上浸水2,149棟、床下浸水6,208棟



新潟県三条市の浸水状況



新潟県中之島町の浸水状況

写真)新潟県三条市HP 45